

様式第 3

会 議 録

会 議 名	令和 4 年度野田市男女共同参画審議会																																														
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	(1) 会長及び副会長の選出について (2) 第 4 次野田市男女共同参画計画の施策の進捗 状況及び成果目標の達成状況について (報告)																																														
日 時	令和 4 年 1 2 月 2 0 日 (火) 午後 1 時 3 0 分から午後 2 時 5 0 分まで																																														
場 所	市役所 8 階 大会議室																																														
出席者氏名	<p>委 員</p> <table> <tr> <td>飯塚 忠明</td> <td>高倉 明実</td> <td>平野 博幸</td> </tr> <tr> <td>石原 和子</td> <td>横川 しげ子</td> <td>芝元 理恵子</td> </tr> <tr> <td>田中 恵子</td> <td>国松 実枝子</td> <td>筒井 圭子</td> </tr> <tr> <td>小川 恵美</td> <td>出井 康裕</td> <td>清水 宏子</td> </tr> </table> <p>事務局</p> <table> <tr> <td>市長</td> <td>鈴木 有</td> </tr> <tr> <td>副市長</td> <td>今村 繁</td> </tr> <tr> <td>福祉部長</td> <td>小林 智彦</td> </tr> <tr> <td>PR推進室長</td> <td>戸邊 卓哉</td> </tr> <tr> <td>企画調整課長</td> <td>中村 正則</td> </tr> <tr> <td>総務課長</td> <td>寺門 洋行</td> </tr> <tr> <td>人事課長</td> <td>山本 茂</td> </tr> <tr> <td>行政管理課長</td> <td>代田 明洋</td> </tr> <tr> <td>管財課長</td> <td>大月 聡</td> </tr> <tr> <td>営繕課長</td> <td>中村 利夫</td> </tr> <tr> <td>市民生活課長</td> <td>田中 洋介</td> </tr> <tr> <td>防災安全課長</td> <td>森下 元博</td> </tr> <tr> <td>商工労政課長</td> <td>海老原 孝雄</td> </tr> <tr> <td>農政課長</td> <td>富山 勝之</td> </tr> <tr> <td>スポーツ推進課長</td> <td>茂木 大介</td> </tr> <tr> <td>清掃計画課長</td> <td>小沼 京治</td> </tr> <tr> <td>生活支援課長</td> <td>松本 和博</td> </tr> </table>	飯塚 忠明	高倉 明実	平野 博幸	石原 和子	横川 しげ子	芝元 理恵子	田中 恵子	国松 実枝子	筒井 圭子	小川 恵美	出井 康裕	清水 宏子	市長	鈴木 有	副市長	今村 繁	福祉部長	小林 智彦	PR推進室長	戸邊 卓哉	企画調整課長	中村 正則	総務課長	寺門 洋行	人事課長	山本 茂	行政管理課長	代田 明洋	管財課長	大月 聡	営繕課長	中村 利夫	市民生活課長	田中 洋介	防災安全課長	森下 元博	商工労政課長	海老原 孝雄	農政課長	富山 勝之	スポーツ推進課長	茂木 大介	清掃計画課長	小沼 京治	生活支援課長	松本 和博
飯塚 忠明	高倉 明実	平野 博幸																																													
石原 和子	横川 しげ子	芝元 理恵子																																													
田中 恵子	国松 実枝子	筒井 圭子																																													
小川 恵美	出井 康裕	清水 宏子																																													
市長	鈴木 有																																														
副市長	今村 繁																																														
福祉部長	小林 智彦																																														
PR推進室長	戸邊 卓哉																																														
企画調整課長	中村 正則																																														
総務課長	寺門 洋行																																														
人事課長	山本 茂																																														
行政管理課長	代田 明洋																																														
管財課長	大月 聡																																														
営繕課長	中村 利夫																																														
市民生活課長	田中 洋介																																														
防災安全課長	森下 元博																																														
商工労政課長	海老原 孝雄																																														
農政課長	富山 勝之																																														
スポーツ推進課長	茂木 大介																																														
清掃計画課長	小沼 京治																																														
生活支援課長	松本 和博																																														

	<p>障がい者支援課長 伊原 誠宏 高年齢者支援課長 山口 忠司 児童家庭課長 小林 利行 保育課長 武田 真弓 子ども家庭総合支援課長 渡邊 宏治 保健センター長 池田 亜由美 生涯学習課長 安藤 剛行 青少年課長 善方 浩子 指導課長 間々田 英示 子ども家庭総合支援課分室長 龍野 淳 消防総務課長 田中 徳寿</p> <p>人権・男女共同参画推進課長 宮崎 英雄 同 課長補佐 東風谷 一 同 課長補佐兼啓発係長 高塚 和枝 同 副主幹兼関宿会館長 鈴木 利明</p>
欠席委員氏名	原口 立 佐喜川 貞子 園田 有紀 小沼 望
傍聴者	なし
非公開の事由	なし
人権・男女共同参画推進課課長補佐	<p>令和4年度野田市男女共同参画審議会の審議結果（概要）は、次のとおりである。</p> <p>令和4年度第1回野田市男女共同参画審議会を開会する。議事に先立ち、委員委嘱後初の審議会であることから、委員を紹介し、16名中12名出席で4名の委員が欠席しているが、過半数の委員が出席しており、野田市男女共同参画審議会条例第6条第2項の規定により、本審議会が成立していることを報告する。</p> <p>次に事務局職員を紹介し、本日配布の資料を確認する。</p> <p>会議の公開及び傍聴、会議資料及び会議録の公開について説明する。会議録作成のため録音機を使用すること、会議内容の視覚化のため音声文字変換機を使用すること、過去の審議会において、会議録における発言委員の氏名の公表、会議資料・会議録・委員名簿のホームページ公開が決定していることについて了承していただく。</p>

市長	<挨拶>
人権・男女共同参画推進課課長補佐	議題1 会長・副会長の選出について 市長に仮議長をお願いする。
市長	会長、副会長の選出は野田市男女共同参画審議会条例第5条第2項に「会長及び副会長は委員の互選により選任する」と規定されているが、その選任方法について伺う。
国松委員	指名推選はいかがか。
市長	指名推選の意見があったが異議はないか。
	<異議なしの声あり>
市長	異議がないため、指名推選により行うこととする。 推選をお願いする。
国松委員	前会長の横川さんをお願いしたい。
市長	横川しげ子委員との推薦があったが異議はないか。
	<異議なしの声あり>
市長	異議がないため、会長は横川しげ子委員を選出する。 会長が決定したため、議長を交代する。
人権・男女共同参画推進課課長補佐	横川委員へ、席の移動と会長就任挨拶をお願いする。
横川会長	<会長就任挨拶>
横川会長	副会長の選出方法について伺う。
国松委員	会長一任でよいのではないか。
横川会長	会長一任との意見があったが異議はないか。
	<異議なしの声あり>
横川会長	副会長は、会長一任となる。 副会長に、石原和子委員を指名する。
人権・男女共同参画推進課課長補佐	石原委員へ、席の移動と副会長就任挨拶をお願いする。
石原副会長	<副会長就任挨拶>

<p>人権・男女共同参画推進課課長補佐</p>	<p>市長が公務により退席する旨を告げる。</p>
<p>横川会長</p>	<p><市長退席></p>
<p>人権・男女共同参画推進課長</p>	<p>議題2 第4次野田市男女共同参画計画の施策の進捗状況及び成果目標の達成状況（報告）について事務局からの報告を求める。</p>
<p>出井委員</p>	<p><資料に基づき、第4次野田市男女共同参画計画の取組状況を説明></p>
<p>横川会長 国松委員</p>	<p>時間がない中、書かれていることを説明するものであっては、全く時間の無駄ではないかと思うのですよ。お忙しい中副市長以下、各部から地位のある方が出席されている中、この場ではQ&A、我々審議委員の持っている質問に対する回答に費やした方がいいのではないかと思うのですがいかがですか。今までどのようにやってこられたのか、私新規なので分かりませんが、時間節約という観点であれば、そちらの方が有益になるのじゃないかと思いたいがいかがでしょうか。すみませんが、図っていただきたい。</p>
<p>横川会長</p>	<p>出井委員の発言に対し、他の委員から意見を求める。</p>
<p>横川会長</p>	<p>間（あいだ）でいいと思うのです。特色とか何とかね、そういうふうな要点に基づいた説明をまずしてもらって、その後で大いに活発なQ&Aをやった方がいいと思います。</p>
<p>出井委員</p>	<p>それでは今、そのようなご意見を頂きましたが、三つの形がとられるかと思えます。今のまま続けていくのか、また、国松委員のおっしゃったその間の形、もう少し簡潔なご説明を頂いた後に、Q&A、又はもうここで説明は終わりにして、Q&Aをすぐに入るといった形になりますが。</p> <p>すみません。誤解のないように申し上げたいのですが、私も私が提案しているのは前提があって、各審議委員が、若しくはこちらに並んでいらっしゃる部課長の方々がですね、この資料を読み込んでいるということが前提です。読み込んでいないということであればですね、当然一つ一つ説明していただく必要があるのですが、少なくとも審議委員は全部読み込んできているというふうに理解しています。そうで</p>

	<p>ないのであれば、中途半端にやるのじゃなくて今までのように説明を行っていただいた方が良いかと思えますけれど、今後の会のあり方に関係があると思うので、あえて提案させていただきます。</p>
横川会長	<p>はい、ありがとうございます。 それでは、これを御理解しているかどうか。と、いうことを先に伺った方がよろしいでしょうか。</p>
出井委員	<p>理解しているかどうかじゃなくて 読んでいるかどうかということ。</p>
横川会長	<p>読んでいるかどうかということ。</p>
出井委員	<p>その方が我々にとっても有益なのではないかと。 その方が割と委員の皆様には前もって配られておりますので、こちらを読んできているかと思えます。また、市の職員の皆様方に関しましても、内容に関しましては、いかがでしょうか。お分かりのようでしたら、このまま質問という形にさせていただきますが、いかがでしょうか。</p>
横川会長	<p>また国松委員のおっしゃった、もう少し簡潔にした上で説明するという形、その二つに絞ってよろしいでしょうか。 私も新規なのですが。</p>
	<p>先ほど課長さんの方からご説明ありましたけれども、3ページ4ページは、5ページ以降の進捗状況等をですね、まとめたものといいますか、総括したものという風に私は事前に頂いたときに理解したのですね。</p>
	<p>その中で特にポイントをつかんで説明をされているのかなあというふうに思いますが。</p>
飯塚委員	<p>そのページを説明していただいて、時間的にどれぐらいの時間を設定されているのも分かりませんが、その後の質問がもしあれば、我々も質問すればいいのかなと。</p>
	<p>もう読み込んでいると言われますとね、なかなか難しいのですが、私も読み込んできたつもりで、1か所ですね、先ほど課長さんの方で未訂正のところですが読み込んだ関係で言いますが、6ページ。</p>
	<p>人権に関わることなのなのですが4年度の中学生人権講演会の講演会がごんべん（言）の方ですが、講演会の文字が後援会になっておりますから、そこを直しておいていただいて、はい。</p>

横川会長	<p>課長さんの説明を、せっかくですから少しお聞きして、それから質問の方をですね、したいなと思いますがいかがでしょう。</p>
国松委員	<p>はい。それではまた国松委員と同意見かなとは思いますが、いかがでしょうか。このままそのまとめた2ページを説明していただいた後に、御質問という形をとらせていただいでよろしいでしょうか。</p>
横川会長	<p>はい。それからね、重要な、グラフのところを説明していただきたいと思いますが。</p>
出井委員	<p>かしこまりました。それでは2ページ、またあのグラフの説明、それとともに重要であろうと思われるところを御説明いただきまして、それからの御質問とさせていただきますがよろしいですか。</p>
横川会長	<p>出井委員いかがでしょうか。</p>
横川会長	<p>皆様がよろしければ。</p>
横川会長	<p>皆様いかがでしょうか。</p> <p><意見無></p>
人権・男女共同参画推進課長	<p>はい。それでは御了解いただきましたので、そのような形で事務局、よろしく願いいたします。</p>
横川会長	<p><資料に基づき、第4次野田市男女共同参画計画の取組状況を説明></p>
出井委員	<p>取組状況について意見を求める。</p>
	<p>聞きたいことは色々あるのですけれども。</p> <p>一覧番号で言うと10番（女性のための相談）と13番（男性のための相談）なのですが、10番は非常に良いことが分かりましたが一点、今年の9月1日時点の進捗状況については、8月時点で44件とありますが訂正はありません。これは利用率でいうと何パーセントになるのですか。</p> <p>というのは、13番、これは男性のための相談は実際の件数を言っているだけで利用率は言っていません。</p> <p>こちらの方は利用率を教えてください。</p> <p>10番の方は、2年度で67%だったけれども、余裕が</p>

<p>人権・男女共同参画推進課長 出井委員</p>	<p>あるので、月の相談日数を4回から3回に減らした経緯があったのだけれども、3年度これで70%利用率が上がったという。そういうニュアンスでよろしいでしょうか。</p> <p>非常に良い、ちゃんとした点だと思うのですね。</p> <p>それで、それをみるとして、今年8月までは44件、この44件が利用率何パーセントか、すぐ出なければ結構です。出るのであれば利用率が上がっているのか。</p> <p>この44件が利用率何パーセントが出るのであれば、利用率上がっているのか。</p> <p>下がっているのであれば、そのあたりを何とかしなくてはならないことになるかと思う。そのあたりの回答を事務局から説明をお願いします。</p> <p>4年度は8月末では出ない旨を回答。</p>
<p>人権・男女共同参画推進課長 出井委員</p>	<p>8月末で44件と書かれていますよね。人権・男女共同参画推進課で書かれたんですよね。難しいことは言ってません。相談件数を利用の枠数で割った数が67であり、70であると理解しています。それと同じように今年は44件なら利用率何パーセントという単純な質問です。</p> <p>もちろん、11月まで出るというのであれば越したことはないのですが。いかがでしょう。</p>
<p>人権・男女共同参画推進課長 出井委員</p>	<p>8月末現在も70%という数字でございます。今現在最新の数字でもやっぱり70%の利用率になってございます。</p> <p>8月末で70%というのであれば、利用回数は44を0.7で割った回数で、割った数じゃない。</p>
<p>人権・男女共同参画推進課長 出井委員</p>	<p>月3回、相談を開催してございますので。</p> <p>月3回で8月までなら15回ですよ。1回あたり5件の計算されておられますよね。5件の相談だとすると、75件が母数になると思うのですよ。75だと44件は70%じゃない。どうしてこうなるのか。</p>
<p>人権・男女共同参画推進</p>	<p>すみません。今70%と言ったのですけれども、ちょっと計算して直します。</p>

課長

出井委員

そうですね。別にクレームとかじゃなくて、数字の整合性を伺いたい。

人権・男女共同参画推進課長

同様に、施策番号13番、男性のための相談の利用率はどのくらいになってますでしょうか。

男性のための相談につきましては、枠を決めて相談を受けてございません。

出井委員

ですので、利用率につきましては、計算できない状況でございます。

人権・男女共同参画推進課長

出てない。3年度6回開催して6回相談ありましたとありますが。

2年度3年度の利用率につきましては、ただ今計算しますので少しお待ちください。すみません保留させていただきます。

出井委員

片方は実数と利用率が出ている、片方は出ていない。数字の比較ができない。

人権・男女共同参画推進課長

すみません利用率につきましては保留させていただきます。

令和5年3月22日付け回答

○女性のための相談利用率

令和4年度は、8月までに毎月3回、計13回実施しました（祝日のあった5月と8月は2回）。

1回最大5件、期間中最大65件相談可能なところ、44件の相談で利用率は67.7%です。

○男性のための相談利用率

2年度は、毎月1回、計10回実施しました（祝日を除く）。1回最大6件対応で、最大60件のところ9件の相談で、利用率15.0%です。

3年度は、偶数月に1回、計6回実施しました。1回最大6件で、最大36件のところ、6件の相談で利用率16.7%です。

4年度は、『職員が随時対応しており相談回数の設定がないため』、利用率は算出できません。

出井委員

分かりました。2年度と3年度。4年度は19件に跳ね上がったのは素晴らしいと思います。

国松委員

国松でございます。これだけ膨大な資料ですから、読みこなしてそこから質問を出すということ等、かなり大変なことで、自分が関心を持っているところを重点的に読まざるを得ないと思うのです。

審議会の女性委員の数を増やしたいというような、男女共同参画課長のそういうお願いがありましたね、意見を出してくださいというお話でありました。

野田市は関心を持っている方は、それなりには分かっているらっしゃるだろうと思いますけれども、ある時期、日本で一番男女共同参画の進んでいる、ある意味前に進んでいる市というふうに私は認識していたことがあります。それはこの女性の審議委員が、そうですね、47～48%ぐらいになっていたのです。今は39.70と書いてありますけど、先ほど37だとおっしゃって、これより少ないということが現実なわけです。でも、千葉県では、全国は知らないですけど千葉県では一番たくさんの女性委員を出している、そういう市なのです。これは男女共同参画のことをずっと勉強しておりますと、一つのメルクマールになるわけです。その市が審議会の女性委員を何%出せているかというのが、一番目に付くというところで一つの判断ができるくらい重要な数字なのです。これをやっぱり増やしていくというのは相当大変なことだろうと現実には思います。

私もどうしたら増えるかしらと色々考え、非常に熱心な市長さんであれば、号令以下ですね、絶対40%以上にしようなんていうことになれば、それはもうあつという間にできないことはないと思いますけれど、それではそれができる市とできない市がありますし、ほとんどの市はできませんので、それで結局、地道な努力しかないかなと思っておりまして、今、40いくつある審議会の委員の改選の時にその担当課とそれから男女共同参画推進課が必ず話しあって、それで少しでも増やすためのいい方法はないかということで、知恵を出し合う。その知恵の中にはよく言われるのは、団体の長ではなくて、団体の副、副会長ですかね、副会長となると、だいたい二、三人いますから、そんな中に女性一人ぐらいは入っていますので。あるいは事務局の誰かというような形で具体的にやはり一つずつ丁寧に考えて積み上げていくというのが、

出井委員

一番堅実な方法で効果はあるかなという風に思っております。それですので、あの面倒でしょうけれども、そういうことを積み上げていって、この千葉県一位を維持しながら、目標50%に向かって努力していただけたらと思っております。

今、あの国松委員からご発言のあった、施策番号調べてみました。77番に該当します。

19ページ、77番。これ人権・男女共同参画推進課の方から訂正が入っていましたが、よく分からないのですけど、令和3年は42審議会の数があって、39.7%は登用率だと、それを37.4%に訂正と、42のうち、女性委員が在籍している審議委員の会数が41件、41件は女性委員が登録されている。

令和4年は同じポジションでこちらの方は39.7%ですけども間違いはないですか。人権・男女共同参画推進課にお尋ねいたします。

人権・男女共同参画推進課長
出井委員

はい間違いございません。

分かりました。そうすると、動きとしては41.2%、37.4%、39.7%、ほぼ40で回復しつつあるというふうに理解して素晴らしいことだと思います。

翻って我々の審議会は今日配られた資料によると75%、素晴らしいですね。おそらくダントツじゃないかと思うのですけれど。男性が4人25%。ちょっとこれも心細いのですけれども、ただ一つ思わなければいけないのは、数合わせで50%にしたらいいいというのではなくて、やはり意識を持って参画して参加する委員の数を増やしていくということがより重要でないかと思います。当たり前のことですよね。

色々と私が所属している団体でもそうですけど、役員のなり手がいない場合、数合わせでこれやってよ、とこういう話を往々によく耳にします。一つは我々が高齢化したために自分自身もしんどいし、後継者も育てない場合、もう持ち回りでどんどん回していこうというように、非常にどの団体でも同じ問題点を抱えていると思っております。ま

人権・男女共同参画推進課長
出井委員

筒井委員

あこれどうしようもないことですけど。

で、女性委員の登用率を上げるという男女共同参画推進課の方からも要請がありましたので、私自身も自分の属している地域、及び団体に伝えてはおきたいと思います。

おそらくこれは一人の属している団体の会長と副会長の説得にかかっていると思うのですよ。

ですから立候補してなっている役員というのはあまりいないのであって、持ち回りなんかやってないで、その中なるべく女性の方をお願いしますと。そんな時間ないでしょうけど。世間一般の話ですけれども、60も後半になれば子供の手が離れてくるので ちょっと社会貢献に参加してみようという方も結構いらっしやると思います。そういうところを狙っていけばいいのではないかと思います。

すいません、補足させていただきました。

あ、すいません。漢字の間違いは、あまり国会ではないので、どうでもよくはないのですが、そういうことに注意するところではないのですが、77番の自分が言っていた「3年度の評価及び課題」のところ、男性委員が極端に少ない審議会があるというのは、これ間違いですよ。女性委員ですよ。

男性が極端に少ない審議会なんてちょっと考えられない。どうですか、これも間違いじゃないですか。

すみません。間違えてます。ありがとうございます。

この程度のことは僕はいいと思うのですよ。

漢字を若干間違えているとか、数字を若干書き方を間違っているとか、大体合っていればいいのではないかと。そういう細かなところを審議するための審議会ではないという風に理解しています。

今の審議会の女性委員の件ですけれども、はい。見かけ上は野田市の審議会は女性委員が多いということなんですけれども、一人の女性が複数の審議会の委員になっているということが案外多いのではないかと思います。私自身も一時は三つ兼職していたのです。確か横川さんも多分兼職なさってますよね。そういうことではいつになっ

も新しい人材が発掘できないと思うのですね。でも私も何期も継続して、この審議会にも出ておりますけれども、やっぱり若い人たちに逆に参加してもらうには、その審議会を平日のこういう時間帯に行うのはどんなものだろうかと思うのですね。ずっと以前は、男女共同参画審議会は土曜日にやっていたことがあるのです。そうすると若い方でもお子さんをご主人に預けて参加できるっていうこともありますし、審議会の持ち方をあの例えば夜にするとか、土日にするとかという工夫、それから、年齢的にもある程度何期も重ねてきた人は退任していただいて、若い方をどんどん開拓していくという努力がもうちょっとされていかないと、ただ誰か推薦してくださいという待ちの姿勢では、いつになっても同じ人が同じ審議会に居座るだけで何の改革にもなっていないと思うので、その辺を考えていただければいいかなと思っております。

出井委員

何かカラオケのマイクの奪い合いみたいで恐縮なんですけども、今ご意見、全くその通り大賛成です。ただ問題は、質問に回答してくださるこちらの副市長以下、部課長さんたちは、やっぱり夜に来いと、休みの日に出て来いと言われたからって、非常に負荷が大きすぎると思います。それについては、私は賛成しかねます。むしろ審議会を正規の審議会は従来通り平日、回答者が勤務時間帯において行っていただくと。ただし、サブミーティング。ある意味では正規ではないですよ。この審議会のサブミーティングを会長の御発案で、ぜひ集まるというようにしたら、機能するのではないかと思います。いかがですか。

サブミーティングを我々が審議委員だけで、都合のつく委員だけ、あるいはその案件について興味のある委員だけで別途集まるということです。部屋は貸していただけると思うので、そういう新しい提案です。それはその行政の方で許可していただけるかどうかは別ですけども。

そういう提案をさせていただきました。

福祉部長

ご提案ありがとうございます。そもそも審議会自体が何かに沿ってと言うよりも、皆さんの意見を聞いて、今回ですと男女共同参画という部分を伸ばしていこうと。そのために皆さんの意見を良く聴こうというのが目的だと言う風

国松委員

に思っております。今委員さんからこのような形で新たなミーティングと言うような形がありましたけれども、これに関しては、ぜひ委員さんの意見をもう一度踏まえましてここだけの会議じゃなくて。本来もっと色々な意見を出してもらいたいという委員さんの中で、一つの新しい会議ができればいいかという風に思っています。今後どうするかについては、即答はできないのですが、再度皆さんの意見を聞いたり、あるいは、こういう形がいいんじゃないかと、とりまとめて皆さんにご提案できればと考えております。皆さんよろしくお願ひします。

今日は割と色々なアレンジで面白いと思っているのですが、色々な人がよく定例会の間に協議会ですかね、そういうスタイルもありますから、ぜひ考えてもらいたいと思います。私がこれから申し上げる、20ページと21ページの一番上の段ですね。企業団体等への広報啓発の充実というところですか。こればかりではないのですが、ちょっと今まで見かけなかったのが目についたので、実績というところの上から6行目、代案として男女共同参画パネル展を実施しましたというのがあります。

これは、講演会はコロナ等の関係のためにできなくて、それでパネル展を多分市役所のロビーという所でじゃないかなと思ったのですけれども。

そこでパネル展を実施いたしましたっていうのが出ておりました、それから21ページの上から3枠目の70番で、ワークライフバランスについての広報啓発の推進、ちょっと似たようなその真ん中の部分にこれで再び出ている訳です。これが示す通り、パネル展というのは、市役所に来た方に見ていただけるとそれを前提にした案内ではあるのですけれども、他所の市では、実は私船橋から来ております。他所の市では、男女共同参画フェスティバルというようなものを、県ではもちろんやっておりますが、男女共同参画フェスティバル、男女共同参画に関わるパネル展示とか講演会とか、グループ討議であるとか、パネルディスカッションなどがありますね、そういう風なことがなされておりました、色々な形式があるのですけど、一番分かりやすいのは実行委員会に地元の団体が属しまして、それで市役所と一緒に事を

<p>横川会長</p>	<p>進めていく。1年に1回、3日間とか、長いところは1週間とか、そういう形で、これは色々なことが一度にやるのはちょっと面倒かもしれませんが、その啓蒙はもちろん書かれてあるような形でのアピールをすごくすることができます。それから参加する人はとても勉強になります。</p> <p>それで大変面倒だけでも効果がある催し物と私は思っております。なので、展示をしたというのが目についたものですから。これでもう3分の1ぐらいは展示をしたということで実績になるわけですね。ですからこれに色々なものを加えていって、それでフェスティバルを開催できる場をもっともっと底辺からの男女共同参画に対する意識の広がりというのが出てくるのではないかと思っております。</p> <p>すぐに来年やったらどうですかとは言えませんが、そういうことも頭に入れながら展開していただければいいかなと思います。</p> <p>他に質問、意見があるか伺う。</p> <p><質問・意見なし></p>
<p>横川会長</p>	<p>質問、意見がないので、議題2「第4次野田市男女共同参画計画の施策の進捗状況及び成果目標の達成状況について」について、了承することとしてよろしいでしょうか。</p> <p><異議なしの声あり></p>
<p>横川会長</p>	<p>施策の進捗状況および成果目標の達成状況については報告、了承することとします。</p> <p>事務局におきましてはただ今委員の方からの本日の活発なたくさんのご意見頂戴いたしました。それを、今後の施策の実行に反映させていただき、引き続き、男女共同参画社会の実現に向け、各種施策に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>本日の審議案件は以上となりますが、事務局から何かありますか。</p>
<p>人権・男女共同参画推進課長補佐</p>	<p>現在のところ、本年度において会議開催の予定はないこと、次回の審議会は、令和5年8月で市民意識調査のアンケートについて諮りたいと考えていることを報告する。</p>

人権・男女共同参画推進課長	出井委員から質問があった女性のための相談と男性のための相談の利用率については、後日、何らかの形で報告することを説明する。
横川会長	議事終了につき、議長の任を解く。
人権・男女共同参画推進課長補佐	午後2時50分、閉会を宣言。